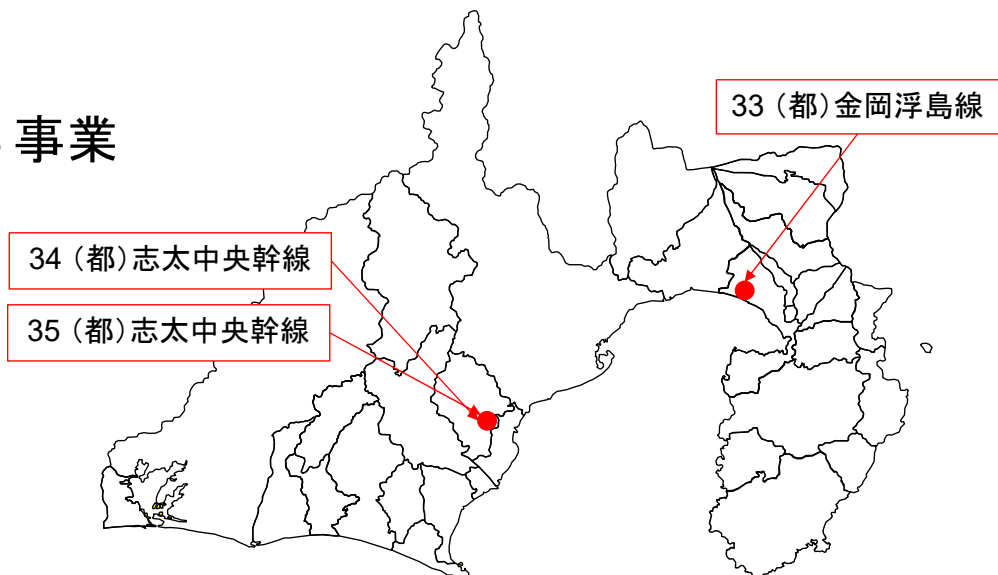


番号	34	令和8年度公共事業再評価調査					担当課名	街路整備課																																
事業名	街路整備事業					事業主体	静岡県																																	
ふりがな	としけいかくどうろ しだちゅうおうかんせん さぐるまこうく					関係市町	藤枝市																																	
箇所名	都市計画道路 志太中央幹線（左車工区）																																							
事業採択年度	平成 24 年度			計画期間	平成24年度 ～ 令和10年度																																			
用地着手年度	平成 24 年度			工事着手年度	平成 26 年度																																			
再評価理由※	前回再評価(R3)後5年経過																																							
全体事業費	百万円 2,468	投資状況 (百万円)	～R6年度 2,392	R7年度 5	R8年度見込 12	計 2,409																																		
事業概要	(1) 事業目的 本路線は、国道1号バイパス藪田西1Cから藤枝市を南北に縦走し、焼津市を経由して一級河川大井川に架かるはばたき橋を渡り東名吉田1Cに連絡する県道に接続する主要幹線道路である。 本事業区間に並走する県道伊久美藤枝線は、道路幅員が狭隘で歩道が無い区間があり、朝夕には慢性的な交通渋滞を引き起こしている。 本事業は、県道伊久美藤枝線のバイパスとして整備し、交通の円滑化および歩行者・自転車通行の安全確保を図るものである。 (2) 事業内容 <table><tr><td>施工延長：</td><td>466</td><td>m</td><td>車線数：</td><td>4</td><td>車線</td></tr><tr><td>道路幅員：</td><td>22</td><td>m</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>道路工(本線)：</td><td>466</td><td>m</td><td>((都) 志太中央幹線)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>歩道拡幅工(交差道路)：</td><td>215</td><td>m</td><td>((都) 岡部藤枝線)</td><td></td><td></td></tr></table>							施工延長：	466	m	車線数：	4	車線	道路幅員：	22	m				道路工(本線)：	466	m	((都) 志太中央幹線)			歩道拡幅工(交差道路)：	215	m	((都) 岡部藤枝線)											
施工延長：	466	m	車線数：	4	車線																																			
道路幅員：	22	m																																						
道路工(本線)：	466	m	((都) 志太中央幹線)																																					
歩道拡幅工(交差道路)：	215	m	((都) 岡部藤枝線)																																					
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・国道1号藤枝バイパスの広幅1C～藪田東1C間（延長1.5km）が令和8年度に4車線化されることから、藤枝や島田地域の物流の効率化が期待される。 ・本路線東側の水守地区では、土地区画整理事業（平成4年度～平成25年度）により宅地が整備され、水守地区の人口が事業着手前に比べて令和6年度末時点で61%増加した。 ・本路線南西に位置するJR藤枝駅前地区において、藤枝市が策定した藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画（H31.3）に基づき、市街地再開発事業が進められている。 (2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和 8 年度時点） <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>2.7</td><td>4.7</td><td>6.4</td><td>9.6%</td></tr></table> ・総便益 (B) 92.4 億円（走行時間便益：88.52億円、走行経費便益：3.89億円、事故便益：0.00億円） ・総費用 (C) 34.2 億円（建設費：34.67億円、維持管理費：0.25億円、用地残存価値：0.73億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） ・交通の円滑化 ・歩行者や自転車の安全確保 ・インターチェンジへのアクセスの向上 (3) 事業の進捗状況（令和 8 年度見込み） <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>97.6%</td><td colspan="2">(2,409 百万円 / 2,468 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="3">事業量</td><td>道路工(本線)</td><td>100.0%</td><td colspan="2">(466 m / 466 m)</td></tr><tr><td>歩道拡幅工(交差道路)</td><td>76.7%</td><td colspan="2">(165 m / 215 m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>98.6%</td><td colspan="2">(8,775 m² / 8,899 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	2.7	4.7	6.4	9.6%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		97.6%	(2,409 百万円 / 2,468 百万円)		事業量	道路工(本線)	100.0%	(466 m / 466 m)		歩道拡幅工(交差道路)	76.7%	(165 m / 215 m)		用地取得	98.6%	(8,775 m ² / 8,899 m ²)		評価	継続が妥当
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																					
2.7	4.7	6.4	9.6%																																					
区 分		進捗率	内 訳																																					
事業費		97.6%	(2,409 百万円 / 2,468 百万円)																																					
事業量	道路工(本線)	100.0%	(466 m / 466 m)																																					
	歩道拡幅工(交差道路)	76.7%	(165 m / 215 m)																																					
	用地取得	98.6%	(8,775 m ² / 8,899 m ²)																																					
評価	継続が妥当																																							
【視点2】	新設バイパスである本線道路（都市計画道路志太中央幹線）は令和5年3月に工事が完了したが、交差道路（都市計画道路岡部藤枝線）の用地取得が未完了なことから、現在は暫定2車線で供用している。 早期の事業完了に向けて、交差道路の地権者との交渉を重ねている。 用地取得率は令和8年度末時点で98.6%となる見込みである。 整備に対する地域の期待も高いことから、用地交渉を進め、早期の完成・供用を目指していく。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																															
評価	継続が妥当																																							
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等 軟弱地盤対策には、地盤安定処理工を採用し、建設発生土を抑制することでコスト削減が期待できる。																																							
対応方針（案）	(1) 対応方針（案） 本事業を 【 継続 】 する。 (2) 理由 本事業は新設バイパスにより、当該箇所の交通の円滑化、歩行者・自転車通行の安全確保を図るものである。 本路線は、投資効果が高いことから、県市の道路事業、街路事業が連携して整備を進めている。整備に対する地域の期待も高いことから、事業を継続する。																																							

令和8年度 公共事業再評価

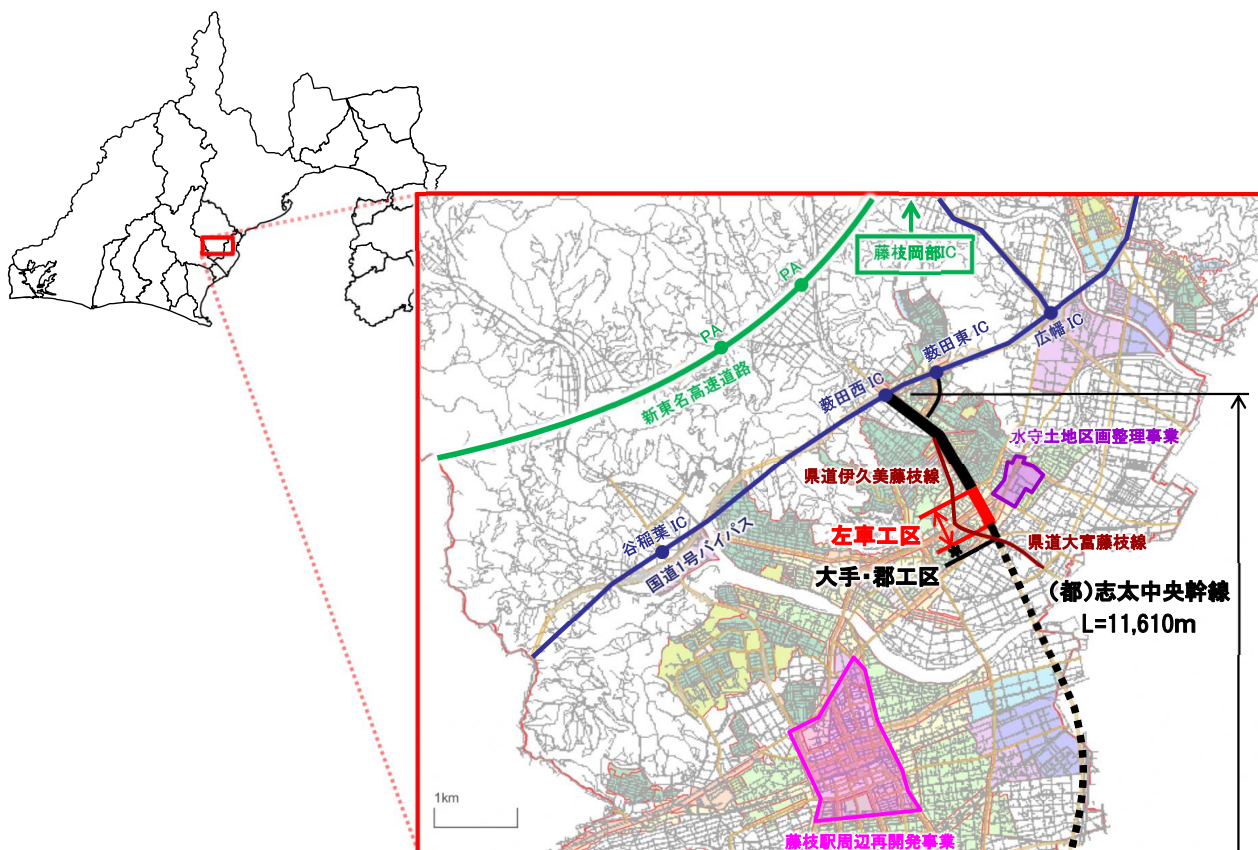
街路事業：3事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
33	街路事業	都市計画道路 金岡浮島線（東原工区）	
34	街路事業	都市計画道路 志太中央幹線（左車工区）	
35	街路事業	都市計画道路 志太中央幹線（大手・郡工区）	

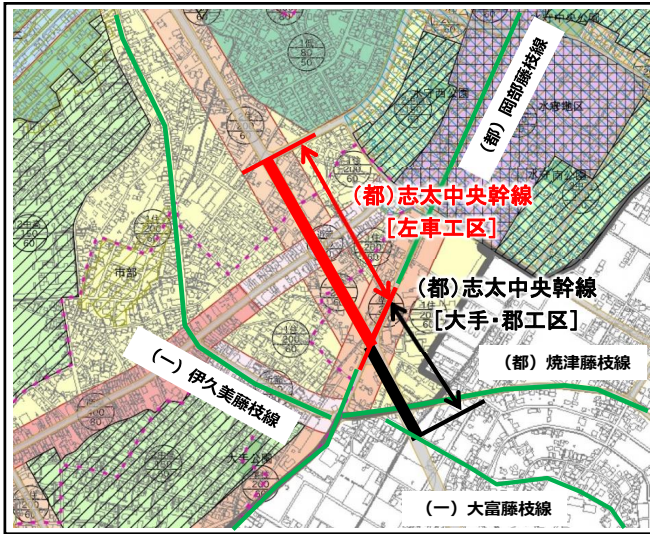
交通基盤部 都市局 街路整備課

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



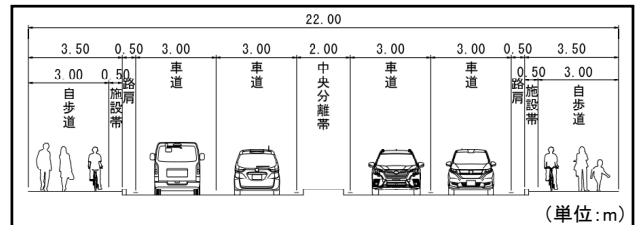
事業目的

- ・(一)伊久美藤枝線で慢性的な交通渋滞が発生しているため、本事業のバイパス整備により、**交通の円滑化**を図る。
- ・自転車歩行者道整備による、**歩行者、自転車の安全性確保**を図る。

事業内容

- ・計画期間：平成24年度～令和10年度
- ・事業区間：延長466m
- ・道路幅員：22m
- ・車線数：4車線
- ・事業費：2,468百万円

横断面図等



工事着手前



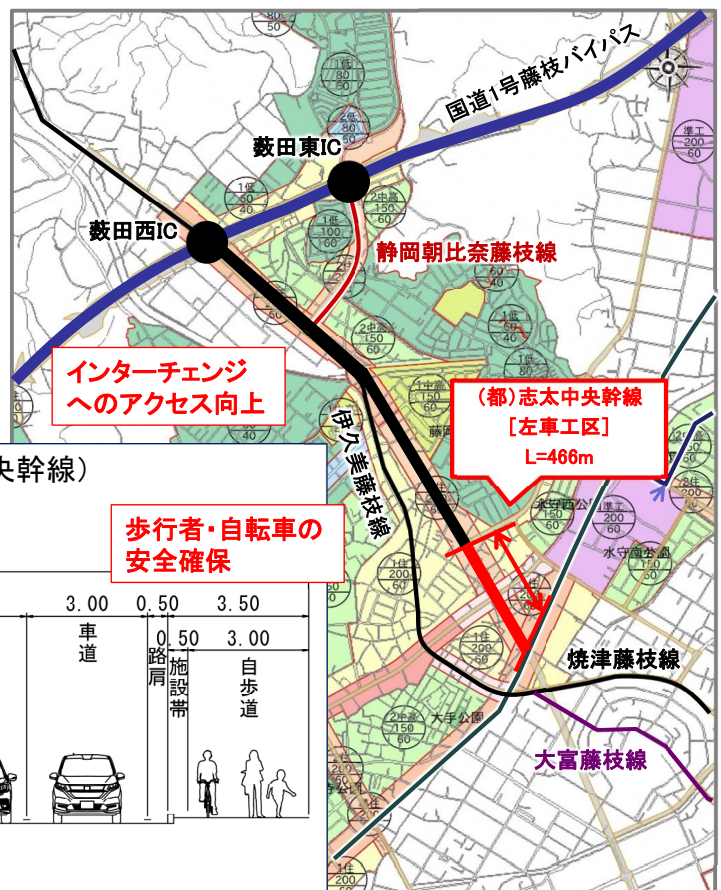
完成(暫定2車線)



3. 事業の必要性 (事業の効果)

○見込まれる効果 (定性的な効果)

- ・交通の円滑化
- ・歩行者や自転車の安全確保
- ・インターチェンジへのアクセスの向上



標準横断面図((都)志太中央幹線)



4. 前回からの変更点・理由

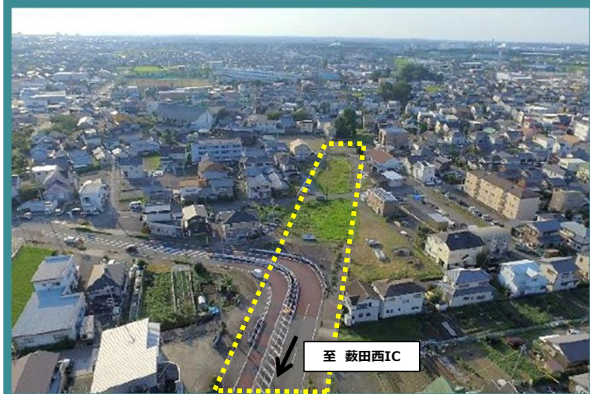
前回からの変更点・理由

区 分	前回(R2)	今回(R7)	主な変更理由
①計画期間	H24～R5	H24～R10 (+5年)	・用地交渉の難航
②全体事業費	2,329百万円	2,468百万円 (+139百万円) ※+5.6%	・労務費及び物価の上昇

5. 今後の事業の進捗の見込み

区 分		進 捗 率	内 訳
事業費		97.6%	(2,409百万円 / 2,468百万円)
事業量	道路工	100.0%	(466m / 466m)
	歩道拡幅工	76.7%	(165m / 215m)
用地取得		98.6%	(8,775m ² / 8,899m ²)

工事着手前



完成(暫定2車線)



6 . 対応方針（案）

本事業は、

- 新設バイパスにより、交通の円滑化、歩行者・自転車通行の安全確保を図る。
- 整備に対する地域の期待も高く、さらに事業の投資効果も見込まれる
- 費用便益比は（B/C）は、2.7である。

以上から、事業効果が大きい。



事業を継続する